

千葉県産大豆の放射性物質検査について(H26.12.19)

平成26年産大豆の放射性物質検査結果

県では、福島第一原子力発電所の事故に関連して、全市町村を対象に大豆及びそばの放射性物質調査を実施しています。

一宮町の結果が判明しましたので、お知らせします。

品目	地域	採取日	放射性セシウム 134	放射性セシウム 137	放射性セシウム 134 と 137 合計
大豆	一宮	12月16日	検出せず (6.1未満)	検出せず (8.4未満)	検出せず (14.5未満)

注1)ベクレル：放射能の強さを表す単位で、単位時間（1秒間）内に原子核が崩壊する数を表す。

注2)分析方法：ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法

注3)検出数値は、セシウム134とセシウム137それぞれを有効数字3桁まで求め、これらを合算した合計欄は有効数字2桁に四捨五入する。（平成24年7月5日付け食安基発0705第1号食安監発0705第1号厚生労働省医薬食品局食品安全部基準審査課長、監視安全課長通知）

注4)「検出せず」とは、検出限界値未満であることを示す。括弧内の数字は検出限界値。

なお、検出限界値は測定ごとに変動する。

注5)検出限界値については、セシウム134とセシウム137の検出限界値の和が基準値の5分の1(一般食品の場合20ベクレル/kg)以下とする。（平成24年3月15日付け食安発0315第4号厚生労働省医薬食品局食品安全全部長通知）

【参考】基準値(一般食品)放射性セシウム：100ベクレル/kg

安全性が確認されたので、町内で収穫された大豆の出荷・販売、譲渡や贈答などができるようになりました。

なお、今までの検査結果は、千葉県ホームページに公表されておりますので、是非ご覧ください。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/annou/h23touhoku/h26/daizu-soba-kensa-kekka.html>